

テーマ3 中島裕輔・富樫英介・横山計二（建築学部）
水野 修（情報学部）、野呂康宏（工学部）

査読付き論文

1. 改田高大, 小池将史, 水野 修, “情報指向型ネットワークを適用したセンサネットワークにおけるデータキャッシュ方式” 電子情報通信学会論文誌 B, J100-B/ 2, 48-58, 2017. 2

口頭発表

1. 直井伸也, 荒井純一, 野呂康宏, インバータ電源で電力供給する自立マイクログリッドにおけるインバータ電源の制御方式, 電気学会論文誌 B, Vol. 137, No. 6, 2017 (掲載決定)
2. 松本卓也, 水野 修, “MANET-DTN 統合ネットワークの実装評価” 電子情報通信学会技術研究報告 vol. 116, no. 485, IN2016-138, pp. 245-250, 2017. 3
3. 榎田雅之, 櫻井宏章, 水野 修, “複合災害対策システムのためのスケーラブルなサーバ運用”, 2017 電子情報通信学会総合大会, A-19-11, 2017. 3
4. 櫻井宏章, 榎田雅之, 水野 修, “複合災害対策システムにおける情報提示方式”, 2017 電子情報通信学会総合大会, A-19-12, 2017. 3
5. 望月寛大, 小池将史, 水野 修, “情報指向型ネットワーク方式を適用したセンサネットワークにおける情報取得手法”, 2017 電子情報通信学会総合大会, B-7-71, 2017. 3
6. 梅田拓磨, 野呂康宏, 大災害時の避難所における独立型電力供給システムの検討 (その 1), H29 電気学会全国大会, 6-284, 2017. 3
7. 岡安翔, 野呂康宏, 再生可能エネルギーと蓄電池をベースとする電力システムの検討: 需給制御方式 (その 1), H29 電気学会全国大会, 6-126, 2017 年 3 月
8. 新井武尊, 野呂康宏, 再生可能エネルギーと蓄電池による供給可能性の検討, H29 電気学会全国大会, 7-068, 2017. 3
9. 荻田知明, 野呂康宏, 需給制御を可能とするインバータ制御方式の検討, H29 電気学会全国大会, 4-114, 2017. 3
10. 菅沼恒平, 三橋徹, 中島裕輔, エリア環境防災情報システム構築に向けたデジタルサイネージ活用に関する研究, 日本建築学会関東支部研究報告集, 2017. 2
11. 加藤明日佳, 宮崎豪, 三橋徹, 中島裕輔, 複合型学校施設のエネルギー消費実態調査と省エネ性・防災性向上に関する研究, 日本建築学会関東支部研究報告集, 2017. 2

外部資金の獲得

1. 中島裕輔, 芝浦工業大学受託研究/平成 28 年度/1,600 千円、帰宅困難者への情報伝達システムに係わる基礎技術の開発 (研究代表者)
2. 水野 修, 新津善弘, 文部科学省・科研費・基盤 C 一般/平成 26~28 年度/3,330 千円、社会的弱者に適用可能な減災情報提供方式 (研究代表者)
3. 野呂康宏, 指定研究費, 2 件合計 300 千円

その他 (報告会・シンポジウムの主催・共催など)

1. 野呂康宏, 電力システム技術東京私学連合ブランチ発表会 (電気学会後援の卒論生発表会共催), 2016 年 12 月